

科目名	航空危険物						
科目名(英)	Transport of Dangerous Goods by Air – Initial as per the IATA Dangerous Goods Training Guidance 7.4						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	川嶋 英信	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験	国際航空貨物業務を35年経験	
対象学科・学年	エアライン科(グランドハンドリングコース)1年 エアポート科(1年課程) エアポート科 2年						
授業概要	この授業は、Competency-Based Training and Assessment(CBTA)のアプローチに基づき、IATAが設計した危険物教育訓練プログラムに従い実施する。対象は、危険物航空貨物の上屋内・ランプでの取り扱い、航空機での搭降載に責任を有する担当者向けである。IATAの国際資格の取得を目指す授業である。						
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				危険物航空貨物に関する基礎的な知識の習得	
		○				危険物航空貨物搭載の事前準備	
		○				航空貨物および手荷物の輸送	
		○				危険物航空貨物に関係する事故や事象などの報告	
				○		上記の4目標を達成し、IATA危険物教育訓練プログラム7.4の修了証明書を取得する	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル・テキストを配布する。 参考図書: 航空危険物規則書第64版IATA発行JACIS邦訳2023年版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション 航空貨物輸送における危険物の取り扱い					
	2	危険物の基礎 危険物の適用				練習問題の解答による復習	
	3	危険物の基礎 危険物の制限				練習問題の解答による復習	
	4	危険物の基礎 荷主と運航者の役割・責任				練習問題の解答による復習	
	5	危険物の基礎 危険物の分類				練習問題の解答による復習	
	6	危険物の基礎 危険物の包装				練習問題の解答による復習	
	7	危険物の基礎 危険物のマーキング				練習問題の解答による復習	
	8	危険物の基礎 危険物のラベリング				練習問題の解答による復習	
	9	危険物の基礎 危険物の緊急対応				練習問題の解答による復習	
	10	貨物搭載前の管理 積み込み要件				練習問題の解答による復習	
	11	貨物搭載前の管理 隔離、分離、貨物室制限				練習問題の解答による復習	
	12	貨物搭載前の管理 航空機への搭載の準備				練習問題の解答による復習	
	13	航空貨物および手荷物の輸送				練習問題の解答による復習	
	14	危険物に係る事故の報告				練習問題の解答による復習	
	15	IATA資格取得のための試験対策				NCA Japan社e-learning受講と修了試験	
評価方法	1)授業後に宿題として練習問題を課す。 2)期末定期試験を実施する。 上記の結果を次のとおり評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	宿題・レポート	○	○		◎		50%
履修上の注意	出席率が規定に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	空港実務ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	河野 浩一
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	エアラインのグループ企業にてグランドハンドリング業務に従事
対象学科・学年	エアポート科 2年						
授業概要	前期の内容の復習も兼ね、引き続き空港地上支援業務従事者としてグランドハンドリング業務に於いての知識を深め、その定着を図る。						
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空機DOORの操作と注意ポイントを理解し、手順を実施できる	
	○	○	○	○		航空機のシステムを理解し、ブレーキマンとしての手順を実施できる	
	○					搭降載の規定を理解し、作業のポイントを説明できる	
	○					制限区域内の車両運転ができるよう、規定を説明できる	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	航空機DOOR操作要領①					
	2	航空機DOOR操作要領②					
	3	航空機DOOR操作要領③					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	4	TOWING作業全般					
	5	BREAK作業 ELEC SYS					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	6	BREAK作業 HYD SYS					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	7	BREAK作業 パネルでの総裁確認 実技高等質問					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	8	空港規則(制限区域内の車両安全)					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	9	空港規則(制限区域内の車両安全)理解度テスト					
	10	CARGO LOADING MANUAL①					
	11	CARGO LOADING MANUAL②					
	12	CARGO LOADING MANUAL③					
	13	CARGO LOADING MANUAL④					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	14	CARGO LOADING MANUAL⑤					授業該当箇所の復習を行う(0. 5時間)
	15	後期の振り返り 理解度テスト					
評価方法	(1)授業中での実技および口頭質問 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)定期試験の実施 以上を、以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	理解度テスト(筆記／2回)	○	◎				20%
	実技及び口頭質問	○	◎	○	○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名		業界地理									
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	大岡 牧代				
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験					
対象学科・学年		エアポート科 2年									
授業概要		航空業界をはじめ交通・運輸業界で働くうえで、地理の知識は必須である。 この授業では、国内および海外の主要都市・主要空港の位置と3レターを把握し、 運輸業界に携わる際に必要な地理の知識を習得する。									
授業形態		講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○					国内の都道府県名および都道府県庁所在地とそれらの位置が把握できている。				
		○					海外の主要な国名および都市名とそれらの位置が把握できている。				
		○					国内・海外の主要空港の所在地、3レターコードが把握できている。				
			○				各主要都市の観光資源やその特徴、所在地を説明することができる。				
				○		各地の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。					
テキスト・教材 参考図書		大原出版「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト 1 観光地理＜国内・海外＞」									
授業計画		回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
		1	日本の都道府県と都道府県庁所在地					各都道府県と都道府県庁所在地を再度地図で確認すること。(0.5時間)			
		2	日本の交通網 ― 東日本の空港(3レター)と観光資源					授業で出てきた空港の所在地を地図で確認し、3レターを覚えること。(0.5時間)			
		3	日本の交通網 ― 西日本の空港(3レター)と観光資源					授業で出てきた空港の所在地を地図で確認し、3レターを覚えること。(0.5時間)			
		4	日本の交通網 ― 新幹線の路線					授業で出てきた新幹線の路線名・運行会社・区間・主要駅を地図で確認すること。(0.5時間)			
		5	世界の六大州と主要国、海外旅行関連データの分析					六大州とそれぞれの主要国の位置を再度地図で確認すること。(0.5時間)			
		6	ヨーロッパの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源 ①					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		7	ヨーロッパの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源 ②					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		8	ヨーロッパの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源 ③					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		9	北アメリカの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源 ①					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		10	北アメリカの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源 ②					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		11	南アメリカの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		12	オセアニアの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		13	東アジアの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		14	東南・南アジアの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
		15	アフリカの主要な国・都市・空港(3レター)・観光資源					授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)			
評価方法		(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)課題提出を1回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
		定期試験	◎	◎				70%			
		課題	◎	○		◎		30%			
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名		業界総合演習				
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	河野 浩一	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にてグランドハンドリング業務に従事	
対象学科・学年		エアポート科 2年				
授業概要		空港地上支援業務従事者としての意識を向上させ、企業が求める安全運航に対し高い意識と感性を備えた人材を養成する。				
授業形態		講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					安全、セキュリティの重要性を理解することができる
	○					現場で求められる人材に必要な業界知識と意識を身に付けることができる
	○	○		○		現場で活用できる資料の作成を行うことができる
	○	○				企業に必要なコンプライアンス・業績管理などを理解し考えることができる
テキスト・教材 参考図書		「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料				
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	企業のコンプライアンスについて①				
	2	企業のコンプライアンスについて②				企業理念を理解し、発表するための予習を行う(1時間)
	3	企業理念について(各自発表)				
	4	フィロソフィー				
	5	航空保安・BAGのセキュリティ①				
	6	航空保安・BAGのセキュリティ②				
	7	航空機の安全運航 LMの業務①				
	8	航空機の安全運航 LMの業務②				
	9	搭降載制限・危険物搭載①				
	10	搭降載制限・危険物搭載②				
	11	搭降載・危険物資料作成①				
	12	搭降載・危険物資料作成②				
	13	搭降載・危険物資料作成③				
	14	理解度テスト				
	15	NLLモバイル				
	16	高所作業車教育				
	17	定時性(品質) 5Sの取り組み				企業理念を理解し、発表するための予習を行う(1時間)
	18	アメンバー経営(部門別採算制度)				
	19	アメンバー経営(部門別採算制度)				
	20	航空機の安全運航、重量管理、ウェイトアンドバランス				
	21	航空機の安全運航 過去のトラブル				
	22	航空機の安全運航 過去のトラブル				
	23	ディベートによるコミュニケーション				

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡB										
科目名(英)	TOEIC Test StrategiesⅡB										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂 / 野々村 賢一		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年										
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。										
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の業務に関連する議論の流れ、結論の理由が理解できる。 ・新製品がどういった点で従来のものよりも優れているのかについての説明を理解できる。					
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	導入、夏休み明け復習テスト、解答＆解説									
	2	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	3	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	4	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	5	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	6	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	7	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	8	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	15	中間テスト、解答＆解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	17	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
18	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。					

	19	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	25	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	26	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	27	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			目標 説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○			与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検本試験解説①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検本試験解説②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	25	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試(筆記)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試(リスニング)、筆記解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期のまとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文の語句空所補充)			
	2	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検模擬試験			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検模擬試験			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検本試験解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検本試験解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

麻生外語観光＆ブライダル専門学校 シラバス

	26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめおよび期末試験対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科 2年						
授業概要	1. Students can develop English proficiency 2. Students can gain more confidence in using English 3. Students can gain English skills for living abroad, work and proficiency tests						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				Students can raise English proficiency	
	○	○				Students can gain more confidence in using English	
	○	○				Students can learn English skills for living abroad, work and proficiency tests	
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book1						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Summer Holidays				none	
	2	10.1 Top Cities				Preview lesson materials	
	3	10.2 Crime and punishment				Preview lesson materials and review previous lesson	
	4	Teacher's Lesson				none	
	5	10.3 There's a problem				Preview lesson materials	
	6	Halloween Prep				none	
	7	Halloween Lesson				Review previous lesson	
	8	10.4 Mary's Meals				Preview lesson materials and review previous lesson	
	9	Halloween Lesson				Review previous lesson	
	10	10.5 Lookback				Review previous lesson	
	11	Halloween Lesson				Review previous lesson	
	12	11.1 Keeping in touch				Review previous lesson	
	13	11.2 Make a difference				Preview lesson materials and review previous lesson	
	14	Teacher's Lesson				none	
15	Speaking Test Practice				Review previous lesson		
評価方法	Student evaluation : (1) Test – 50% (2) Class participation – 25% (3) Attendance – 25% The scoring scheme is : S(90 and above) , A(80～89) , B(70～79) , C(60～69) , D(59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Semester end Exam	◎	○				50%
	In-class Tasks	◎	○				50%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 10 classes.						

科目名	ビジネス文書						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科 2年						
授業概要	ビジネスシーンの中において必要な社内文書、社外文書、社交文書の知識を身に付け、ビジネス文書検定取得を目指す。また、社会人としてSNS内の正しい表現や使い方についても知識を深める。						
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					表記技能(総合、用字、用語、書式)について理解できる。	
	○					表現技能(正確な文章、分かりやすい文章、礼儀正しい文章)について理解できる。	
		○				実務技能(社内文書、社外文書、文書の取り扱いについて理解できる。	
				○		文書による効果的コミュニケーションが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ビジネス文書とは					
	2	伝言メモの作成					
	3	文の成り立ち、文章の構成					
	4	文体の統一・演習					
	5	ビジネス文書の種類と特徴					
	6	社外文書の書き方・演習					
	7	社交文書の書き方・演習					
	8	社内文書の書き方・演習					
	9	横書き・縦書きの構成					
	10	手紙の常識、便箋の書き方・演習					
	11	はがき・封筒の書き方・演習、電子メールのマナー					
	12	敬語表現の常識、尊敬語・謙譲語					
	13	尊敬語・謙譲語の演習					
	14	見やすい文書の工夫					
	15	まとめ					
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する (2)宿題数回実施する (3)演習問題(過去問題)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		30%
	演習問題	◎	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位は付与しない。						

科目名	ユニバーサルマナー						
科目名(英)	Universal Manner						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平田 かおり
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で、多様性と向き合い、全ての人が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできることや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：△	実技：△	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を学び高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、それぞれに応じた適切なサポートができるようになる。	
			○			車椅子の基本的な操作方法を学び、手順書を見ずにサポートできるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通し介助の仕方を工夫して提供できるようになる。	
		○				聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助の仕方を理解し説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	2	高齢者介助 ー高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	3	高齢者介助 ー高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	4	高齢者介助 ー高齢者とのコミュニケーション				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	5	肢体不自由者 ー肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	6	肢体不自由者 ー車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	7	肢体不自由者 ー車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	8	肢体不自由者 ー車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	9	肢体不自由者 ー車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	10	視覚障がい者 ー視覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	11	視覚障がい者 ー視覚障がい者介助演習(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	12	視覚障がい者 ー視覚障がい者演習(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	13	聴覚障がい者 ー聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	14	補助犬、ユニバーサルデザイン、様々なマーク				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	15	総まとめ・レポート課題					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	一般教養ⅡB											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		瀧口 恵子 / 市原 美智子			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 トラベル科 2年											
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施											
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる						
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる						
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる						
	○					時事ニュースについて、その概要をまとめ説明することができる						
テキスト・教材 参考図書	プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	第1回：漢字の知識、社会(時事、建築、用語)、英文和訳					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	2	第2回：ことわざ、社会(時事、人物、用語)					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	3	第3回：漢字の知識、社会(観光資源、地理)、英文空所補充、数学					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	4	第4回：漢字の知識、文学、歴史、数学、英文空所補充					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	5	第5回：漢字の知識、社会(歴史、用語、地理)、英語					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	6	第6回：漢字の知識、社会(用語、地理)、数学、英文和訳					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	7	第7回：漢字の知識、社会(産業、用語)、英文空所補充、数学					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	8	後期試験										
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況 以上を、以下の観点・割合で評価をする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	定期試験		◎						○			80%
	出席状況								○			20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	PowerPoint						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科(1年課程) エアポート科 2年						
授業概要	パワーポイント作成の技術を身に付け、作成したパワーポイントを使いプレゼンテーションを行う。						
授業形態	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			表・グラフの作成が出来る。	
			○			図・クリップアート・ワードアートの挿入と加工ができる。	
			○			アニメーションの設定・画面の切り替えができる。	
			○			画像の加工とマルチメディアの活用ができる。	
		△	○			作成したパワーポイントを使ってプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	PowerPointの基礎知識、基本的なプレゼンテーションの作成					
	2	新しいプレゼンテーションの作成・プレゼンテーションの流れ					
	3	図やオブジェクトの挿入と編集・イラストや画像の挿入他					
	4	図やオブジェクトの挿入と編集・図形、テキストボックス他					
	5	図表、グラフ、表の挿入と編集					
	6	特殊効果の設定・画面切り替え、アニメーション効果					
	7	印刷関係の機能					
	8	スライドショーをサポートする機能(課題提出)					
	9	プレゼンテーション作成・発表に使える機能・データ収集					
	10	オリジナルプレゼンテーション作成のためのデータ収集・作成					
	11	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	12	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	13	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	14	オリジナルプレゼンテーションの発表					
	15	オリジナルプレゼンテーションの発表					
評価方法	(1)授業内で与えた課題の提出 (2)プレゼンテーションと作品の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出				◎		50%
	プレゼンテーションと作品の提出				◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。						

科目名	手話						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科 2年						
授業概要	手話入門 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って、聴覚障がい者に伝え合う事を学ぶ 手話の基本を身に着ける。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識	
	○					聴覚障がい者の生活	
		○				手話入門	
テキスト・教材 参考図書	手話技能検定(5. 6. 7)プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	伝え合う。名前の紹介 指文字 ①挨拶					
	2	伝え合う。名前の紹介 漢字 ②天気					
	3	伝え合う。名前の紹介 ③疑問					
	4	家族の紹介 ⑦人 ⑧家族 ⑩方角					
	5	数を使って ④数字 ⑨方角					
	6	趣味について ⑪感情 ⑫動作					
	7	1日の事について話す ⑤1週間 ⑥日・週・年					
	8	指文字テスト 5－1 疑問と時間					
	9	5－2 自然に関する単語と家族・仕事・趣味 質疑応答					
	10	5－3 程度を示す単語 話題提供					
	11	5－4 基本動詞 5－5 形容詞					
	12	復習 読取小テスト					
	13	手話技能検定5級					
	14	自己紹介 実技					
	15	4－6 動詞					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(筆記・実技) (2)レポートを実施。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記	◎	○				30%
	実技3回		◎				60%
	レポート				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位は与えない。						

科目名	社会教養ⅡB										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		三笥 秀一郎		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	エアポート科 2年										
授業概要	就職に向けての意識を高め、就職活動準備や就職試験対策(履歴書作成・エントリーシート作成・面接対策等)を行い、希望する業界・企業・職種への内定を目指す。										
授業形態	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					履歴書・エントリーシートを作成し、企業情報等をノートにまとめ活用することができる。					
	○					面接で自分の考えをまとめ伝えることができる。					
テキスト・教材 参考図書	プリント										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	授業概要・シラバス説明、スケジュール確認									
	2	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	3	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	4	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	5	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	6	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	7	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	8	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	9	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	10	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	11	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	12	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	13	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	14	就職試験対策一求人票紹介、履歴書、ES作成、筆記試験・面接対策									
	15	後期の振り返り									
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)提出物 以上を、下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	出席状況						○				
	提出物		○		○		◎				
履修上の注意											